

～第23回日本認知症ケア学会大会での発表について～

ベネッセ シニア・介護研究所**「外国人介護人材の受入れ」と「認知症ケアメソッドの活用」について発表**

株式会社ベネッセスタイルケアの社内シンクタンクであるベネッセ シニア・介護研究所は、2022年6月18日～10月31日に Web 開催された第23回日本認知症ケア学会大会において、以下2件の発表をいたしました。

- 外国人介護職と受入れ施設の日本人職員・入居者との関わりについての実態調査
ー関係性の拡がり・深まりに着目してー（林奈実他）
- 「その方らしさを知る」から始まる「やりたい」の実現の促進
～認知症ケアメソッドを活用したパイロットスタディの結果より～（福田亮子他）

また、弊社ホームからも以下8件の発表を行っております。

- 得意なことの継続による環境変化に伴う周辺症状の軽減（アリア恵比寿）
- 多職種連携による情報収集・分析でご本人らしさを取り戻す
ー不安の「どうしましょう？」から楽しみの「どうしましょう！」へー（グランダ常盤台式番館）
- 人生を知ることと認知症の理解の合わせ技 ーアセスメント力の向上に向けた取り組みー（グランダ大船東）
- 多職種連携で「知る」ことに取り組み見えてきた「その方らしさ」
ー気持ちを伝えてくれるようになったのはなぜ？？ー（くらら上野毛）
- 医療と連携し、薬剤調整によって BPSD が減少した事例
ー薬で見えなくなっていたご本人のその方らしさが引き出せたー（リハビリホームボンセジュール南大泉練馬）
- BPSD への対応から信頼関係構築・生活作りへ ～私たちが探していた【魔法の言葉】はなかった。～
（グランダ御影山手式番館）
- コロナ感染対応下でのその方らしさに寄り添う取り組み ー多職種で連携した早期からの関わりー
（アリア嵯峨嵐山）
- 多職種・家族との共創で快・不快を知りその方らしさを取り戻す ～わたしのことを知ってください！～
（まどか東葛西）